

洪水震災からの復旧・復興に向けて イオンから、タイの被災地へ支援金・支援物資をお届けします（第二報）

記録的な大雨で今なお深刻な洪水被害に見舞われているタイ・カンボジア両国の方々に、心からお見舞い申し上げます。

7月下旬から始まったタイおよびカンボジアの大規模洪水は、断続的な豪雨により徐々に被害が拡大し、現在タイでは首都バンコクを含め、浸水した地域でおよそ2週間たった今も水がほとんど引かず、被災エリアも広範囲にわたっていることから、今後もさらなる被害の拡大が想定されています。

先の東日本大震災では、近隣諸国の方々より多大なるご支援をいただきながら、とりわけイオンが店舗展開するタイからは、心温まる支援金をいただきました。この温かいご支援にお応えすべく、イオンは現在店頭募金活動や、イオンマークのついたクレジットカードでの募金、さらにイオンカードのときめきポイントによる募金、ならびにイオン銀行口座への入金による「タイ・カンボジア洪水被害への災害支援募金」活動を実施したしておりますが、さらなる被害の拡大および支援の緊急性に鑑み、緊急支援物資を被災地へお届けすることを決定いたしました。

記

被災地への寄贈内容について（第二報） 総額約4,500万円

うち、災害復興支援金（約1,500万円）

緊急災害復興支援金500万円（10月17日（月）に現地通貨でタイ政府へ贈呈）

災害支援募金イオン1%クラブ拠出分1,000万円（タイ赤十字の要請により、動力付ゴムポートおよびガスコンロの購入に役立てていただきます）

うち、緊急支援物資（約3,000万円）

1.5リットルミネラルウォーター約40万本（約3,000万円分）を被災地へ提供

これらの支援金および緊急支援物資に加え、駐日タイ大使館の要請にお応えして、約500万円相当のトップバリュ商品（ミネラルウォーター、おかゆ、クッキー等）を航空便にてバンコクの被災地へ空輸いたします。

さらには11月1日（火）～11月7日（月）までの期間において、被災した現地従業員の支援に向けて、イオングループ国内外の従業員が協力してカンパを実施し、全額を現地被災従業員の生活基盤の回復に活用する予定です。

イオンは、被災地の方々が「普段の暮らし」を一日も早く取り戻していただけるよう、今後も全力で復旧・復興への支援を続けてまいります。

<ご参考までに>

イオンは、タイにおいて1985年の第1号店開店以来、食品スーパーマーケットを中心に29店舗を展開しております。また、1992年よりカード事業を開始し、現在では89の営業拠点と600万人のカード会員数を有する同国内トップクラスの金融サービス事業に成長、いざれも現地に根ざした活動を行っております。

また、イオンはタイと日本のお客さまが両国の食文化をよりお楽しみいただけるよう、積極的にタイと日本双方の店舗で両国の产品フェアを実施しているなど良好な関係を続けてまいります。